

「愛と進化成長」

真紀

2013年2月19日

愛を出していることでの効果は、睡眠時間が短くてもすむ、しかもあくびをしない。白い顔で、寒い寒いと言っていた自分が、うそのようです。なにかあっても、あたふたしないし、回りの人と比べてみて、小さなことにこだわらない。ため息をつかなくなった。幸せを感じる。人がすごいと思える。宇宙の秩序法則にすごく大ききさを感じる。などです。愛でいることは、愛をだしていること、愛をだしている時とても感動。なぜなら、愛のエネルギーが共鳴して拡がるから。そして、それが返ってきて、さらに幸せになる。ため息がでないのは、幸せだから。そして、ハートチャクラの活性でもあるので、そこから、全チャクラも活性するのでしょうか、寒がりではなくなっていて、普通の人何倍も元気だと

実感します。自分の中心にいられるので、ちょっとしたことに、気持ち揺れない。そして、今にいる。過去と未来の中心である、今にいる。だからため息もでない。ため息は過去を悔んだり、未来を心配するからでるのだと、わかりました。自分が思ったことが、即、周囲の人が口にしたり、周囲の人の感覚を無意識につかんだりしている。つくづく、エネルギーのやりとりをしているのだということを感じます。一番変わったことは、自分が嫌じゃなくなったこと。以前は自分の感情に振り回されて、自己嫌悪となることが多々ありました。愛を出している自分を嫌いには到底なれないし、愛でいる自分がうれしい。やはり人は愛したい。という思いが根底にあるのだと思う。それが、宇宙の仕組み、私達が本来愛から産まれたことの紛れもない事実の証明であると確信します。その思いは、地球、宇宙、全存在のためとなりたいほどに、大

きく膨らむほどです。それこそが、魂が生まれた時からの、自分のやりたかったこと、本来の姿。だから、愛をださないと、もしかしたら、何度もそう仕向けられることになるのかもしれないとも思います。韓国の歴史ドラマを見ていて、感じたことは、王女や王がなぜ、急成長するのか？それはドラマだからではなく、民のために生きているからだ、と思いました。自分個人でなく、公の人となり生きること、その大きな志と行動が、王女、王に成長させているのだと感じます。最近自分でも変わったなぁと思えたのは、中一の娘と学校の先生とのトラブルで、つい先生に怒りにまかせて誤解を受けるような言い方を娘がしていました。話をしようにも、娘も怒っているのです、それをうまく伝えられずにいましたが、その時の辛さがなぜかとてもわかったので、私は彼女を信じることに決め、そう伝えました。彼女は安心したようで、とて

も落ち着き、その様子を見て、これで良かったと確信しました。思春期の言動に棘がある時期であっても、母親が本当に信頼して、支えていたら、大丈夫なのではないかと、思えたことです。以前の私なら、その言い方、態度に怒ってしまって、話をこじらせていたかもしれません。相手の本当の気持ちに気づくこと、そしていつのまにか、大きな心で、小言を言わずに見守ることができるようになっていた自分に驚きました。人の成長、進化とは、愛を出していくなかで、なるものだと感じるできごとでした。意図せずの効果ではありましたが、私にとっては驚きで、愛の無限大の可能性を感じ、さらに愛となっていきたいと強く思っています。